

円一エリア（右図の範囲）には、中央公民館や市営円一町駐車場に加え、現在、移転を進めている三原市歴史民俗資料館が立地しています。また、エリア内の元円一町庁舎跡地や旧中央図書館は、一時的・期間的な利用を除けば、事実上使われていません。

本基本計画は、これらの市が所有する土地や建物について、周辺商業施設の状況や中心市街地の活性化を考慮した上で、その整備の方向性を明確にすることを目的に策定します。



図：円一エリアの範囲
(出典：NTTインフラネット)

1. 円一エリアの課題の整理

(1) 円一エリアを取り巻く現状と課題

- JR三原駅や三原市役所などの**周辺施設とのネットワークの形成や賑わい形成**に配慮するほか、**中心市街地内の施策や事業との整合**を図る必要があります。
- 市営円一町駐車場は築後40年以上が経過しており、**耐震性不足**や、**老朽化の進行**、**バリアフリー未対応のため**、**更新**が求められています。
- **中央公民館の将来的な建替え**も考慮した**段階的な機能再編・集約の検討**及び、**長期的な視点**が必要となります。

(2) 社会情勢の変化からの課題

- 少子高齢化や人口減少に対応するような、**魅力的な空間形成**の検討が必要となります。
- **地域の魅力向上**や情報発信により、**交流・関係・移住・定住人口の増加**につながる取り組みを行うことが求められます。
- **公用車のEV化**や**太陽光パネルの設置**など、**環境負荷低減の取組を公共側が率先して実施**することで、民間事業者を牽引することが求められます。
- 激甚災害や感染症流行時にも対応できる、**大規模なオープンスペース需要**に対応した土地利用の検討が必要となります。

2. 再整備方針

- 今後の土地利用や周辺の公共施設との関係性を考慮し、円一エリアには「**広場**」と「**駐車場**」を整備することとします。
- 「広場」と「駐車場」の整備には、**【市民交流】**、**【子育て支援】**、**【環境共生】**の要素を取り入れ、円一エリアの魅力向上を目指します。

【市民交流】

⇒にぎわいの創出により
地域活力の維持に
寄与する地区として
再整備

【子育て支援】

⇒保育園・小学校や
市民の遊び場を
創出し、定住を促進

【環境共生】

⇒CO2排出量の削減や
再生可能エネルギー
による環境負荷の
低減対策

3. 導入機能と規模

(1) 広場

◎導入機能

市民交流機能	◆大型複合遊具 ◆ベンチ ◆あずまや ◆イベントスペース	◆キッチンカーの営業ができるスペース	など
子育て支援機能	◆大型複合遊具 ◆インクルーシブ遊具 ◆幼児用遊具	◆あずまや ◆柔らかいボール等で遊べるスペース	など
環境共生機能	◆LED照明 ◆太陽光発電の照明	◆環境学習ができる遊具	など

◎広場の規模

- ◆ 県内最大級の大型複合遊具の設置や、子どもたちが遊び、多世代が快適に過ごせる空間とするために、**5,000㎡以上**の広場を確保することとします。

(2) 駐車場

◎導入機能

市民交流機能	子育て支援機能	◆幅の広い駐車マス（思いやり駐車場）
環境共生機能		◆歩行者通行帯
		◆EV車の充電器
		◆カーポート（太陽光パネル）の設置

◎駐車場の規模

- ◆ 台数：198台（市営円一駐車場の利用実績と大型複合遊具の利用需要の想定をもとに設定）
 - ◆ 形態：平面駐車場（円一エリア北側に**183台分**、広場に隣接した位置に**15台分**）
- ※大型複合遊具の利用が多いと想定される休日は、三原市役所駐車場も利用可能とします。（最大80台分）

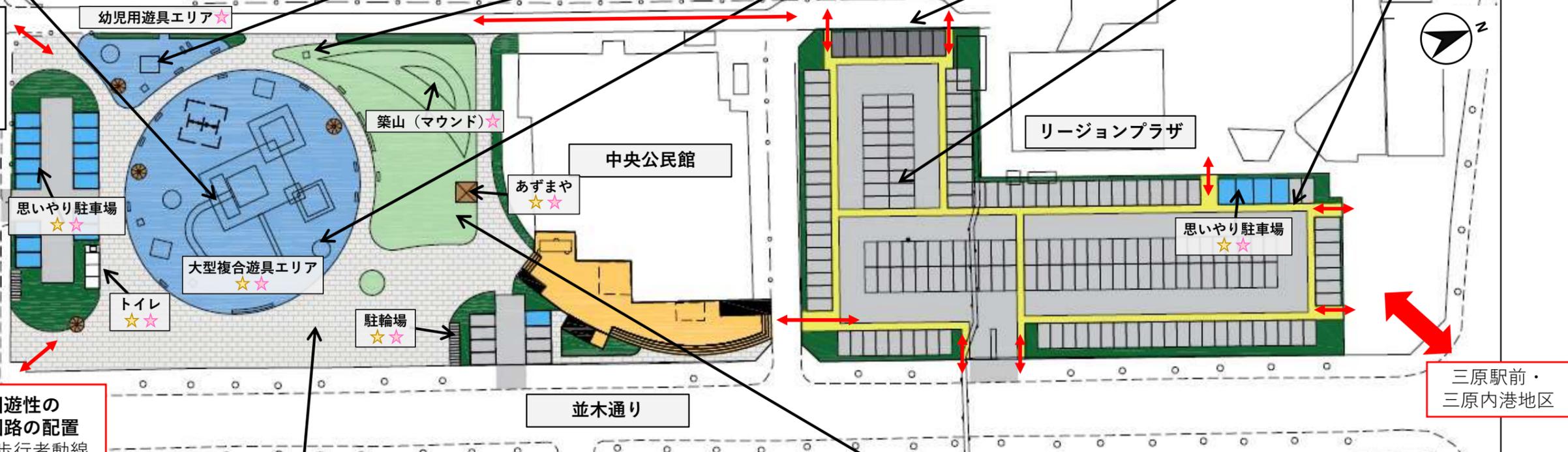
4. 基本計画図（※写真はイメージ）

県内最大級の大型複合遊具を整備

◎遊具



- ★ 市民交流機能
- ★ 子育て支援機能
- ★ 環境共生機能



エリア内外の回遊性の向上を目指した園路の配置
 ←→：想定される歩行者動線

三原駅前・三原内港地区

◎インターロッキング



◎芝生



5. 事業スケジュール

- 平面駐車場は令和10年度、広場は令和11年度からの供用開始を目指します。

項目		都市再生整備計画事業（5カ年）						
		R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
基本計画		→						
解体	三原市歴史民俗資料館・旧中央図書館		設計	工事				
	市宮円一町駐車場			設計	工事			
	帝人通り駐車場			設計	工事			
整備	平面駐車場				設計	工事		
	広場（トイレ・四阿、駐車場、大型遊具を含む）				設計		工事	

※令和9年度に駐車場整備が完成するまでは、円一エリア内に暫定駐車場を設置します。

6. 概算事業費

11億6,400万円

- ※ 解体費、建設工事費、外構工事費、その他経費（調査設計費、消費税等）を含みます。
- ※ 国からの補助金を活用することにより、市の財政負担の軽減を目指します。

7. 整備完了イメージ



問い合わせ先／三原市財産管理課（市役所本庁舎4階） 〒723-8601 三原市港町三丁目5番1号
 電話：0848-67-6009 ファックス：0848-67-6199